

学校経営推進費 事業計画書

1. 事業計画の概要

学校名	大阪府立東高等学校
取り組む課題	B キャリア教育の充実（生徒の希望する進路の実現）
評価指標	①希望進路実現率の向上（国公立大学の総合型選抜志望者数・合格率の増加） ②探究活動をはじめとした、全授業における図書館利用回数の向上 ③学校教育自己診断における生徒の主体的な探究活動に対する達成感と自己肯定感の上昇 ④読書活動（年間図書貸出冊数・読書冊数）の増進 ⑤学校教育自己診断における生徒の授業に関する満足度の上昇
計画名	「東創究学」（E-PLANET）構想 —学校図書館の探究空間創設と自習室の機能強化による東高校のさらなる学究化をめざして—

2. 事業計画の具体的内容

学校経営計画 の中期的目標	1 知識の理解の質の向上と高い学力の育成 （1） 「わかる授業」から「生徒が主体的に考える授業」をめざした授業改善への取組 イ 特色ある教育活動を推進する。特に理数科においては科学的思考力の育成、英語科においてはグローバルな視点を身につけさせるように取り組む。 （2） 「探究活動」の一層の推進による主体的・対話的で深い学びの充実・深化 ア 「探究活動」「課題研究」において、主体的に学ぶ態度、論理的な思考力・判断力・表現力を育成する。 （4） ICT 活用の推進 ア 生徒の学習意欲向上および学習保障に向け、ICT を積極的かつ効果的に活用し、どんな状況においても学びを止めない体制を構築する。 （5） 第5次大阪府子ども読書活動推進計画に基づく読書活動の推進 ア 図書館の利用促進および読書習慣の確立 2 安全安心で魅力ある学校づくり （1） 生徒指導 オ 「開かれた学校づくり」をめざし、HP を活用し、本校の教育活動、生徒の様子等について積極的に外部に発信する。 3 進路指導・キャリア教育の充実 （1） 生徒一人ひとりの進路意識の向上に向けた進路講話、情報提供の充実 イ 進路決定・実現に向けた生徒の主体的な取組を促進する。 （3） 進路実現に向けた教職員の共通理解と指導の充実 ア 大学入試等に関する最新情報を全教員が正しく理解するとともに、大学入試改革に的確に対応できるように指導を充実させる。 （4） 生徒の希望する進路の実現 ア 生徒の希望や適性等に応じた適切なガイダンスおよび個人面談を行い、進路結果についての生徒の満足度を高める。 4 チーム東高校として課題解決にあたる教員集団の確立
------------------	---

			(1) 学校の教育課題に対して全員で取り組む環境づくり イ 学校の課題に適した教員チームを中心として、主体的な教員集団を確立するとともに、意見・提案しやすい環境づくりに努める。
事業目標			学校図書館を「学びのハブ」として機能させるために、自習室としての環境を同時に整備するとともに、次の機能を備えた場所にして、生徒の学力向上を図る。 - 第5次大阪府子ども読書活動推進計画に基づいた読書活動の推進を行うと同時に、「総合的な探究の時間」を軸に据えた幅広い分野の書籍を配架し、全教科の探究的な学びにおいて配架資料を十分に活用できる学習センターの機能。 - 生徒の興味を惹く書籍を常に配架することで、生徒が積極的に図書館を利用し、多くの図書を読もうと思えるような、生徒の主体的な読書習慣を確立し、学びの質と生きる力の向上に寄与する読書センターの機能。 - ウェブにある情報だけを鵜呑みにするのではなく、紙の資料に書かれた情報の価値を理解することで、あらゆる分野の多岐にわたる書籍にアクセスし、総合的な学びを質的・量的に支える情報センターの機能。 - 教室や自宅、公共図書館とは違う「もうひとつの学びの場所」としての学校図書館を意識した、1人1台端末等を用いたデジタルの学びにも十全に対応できる自習センターの機能。 - 上記の4機能を最大限の効率で発揮できるような、自習スペース・学習スペース・情報スペースの3空間をバランスよく配置した探究センターの機能。
取組みの概要	整備する設備・物品		図書館内学究空間「E-PLANET」の設置（壁面ホワイトボード、資料印刷用プリンター、可動式机・椅子）、書架、書籍、自習用机・椅子、インフィル、空間を仕切る防音カーテン、GIGA端末利用環境向上のためのコンセント配備に係る電気配線の追加
	取組内容	前年度	・図書館運営委員会の設置、教員図書委員と探究推進部教員による図書館運営 ・配架図書を活用した教員推薦図書「東高校の100冊」の冊子作成、生徒への配布 ・としょかん通信発行、新着図書フェアなどのイベント開催による図書館への来館促進 ・1年理数科の長期休暇課題「理数科科目に関する新書を読んでまとめる」での図書館活用 ・1年「現代の国語」での単元「読んだ本を紹介しよう」での図書館活用 ・総合的な探究の時間（1年次）「プレ探究」の実施による先行研究論文を読む活動 ・総合的な探究の時間（2年次）「リサーチクエスト」の設定活動のための図書館利用 ・課外活動としての探究活動「Eラボ」の生徒の自主的な取組み（企業研究 教育と探求社との連携） ・図書館自習室の開放期間や開放時間の増加 ・本校行事としての探究活動のまとめ「生徒研究活動発表会」の実施（第7回、大学・企業のゲストあり）
	取組内容	初年度	【1学期】図書館の大規模改修に向けての什器の刷新、「としょかん通信」による情報発信、「Eラボ」募集 【夏季休業中】図書館の改修・什器の再配置、学究空間「E-PLANET」構築に向けての蔵書点検と再配架

			【2学期】「総合的な探究の時間」並びに各教科での図書館利用、各授業における図書館利用の促進、1人1台端末と図書館のレファレンス機能の連携と生徒の図書館利用の促進、教員向けの「E-PLANET」利用研修、「Eラボ」の取組み 【3学期】「E-PLANET」を活用した授業の実施、第8回生徒研究活動発表会、レファレンスサービスを活用した1年次「総合的な探究の時間」における「プレ探究（先行研究紹介）」の精度向上、「Eラボ」の取組み、取組の評価の分析、次年度の計画策定、総合型選抜に向けての外部講師指導
		2 年 め	【通年】「総合的な探究の時間」「理数探究」並びに各教科における図書館活用授業の実施・授業実践、「E-PLANET」を利用した教員の研究授業の実施、読書啓発活動の推進、高大連携・企業との連携によるWeb講座の開催、姉妹校を中心とした国際交流活動への利用、「Eラボ」の取組み 【1学期】「E-PLANET」オリエンテーション（全学年）、「E-PLANET」の利活用に関する教職員研修 【夏季休業中】「E-PLANET」を利用した発表型学力コンクールへの積極的な参加・応募、総合型選抜に向けての外部講師による指導、「E-PLANET」を利用した補習でのWeb配信 【2学期】文化祭(E-FES)での参加団体のライブ配信、学校図書を利用したパフォーマンス課題学習の促進、図書館のレファレンス機能を活用した教科横断・教科融合型の授業の実践 【3学期】第9回生徒研究活動発表会、取組みの評価の分析、次年度の計画策定
		3 年 め	【通年】「E-PLANET」を恒常的に利用する生徒数増加のための宣伝、「総合的な探究の時間」「理数探究」並びに各教科における図書館活用授業の実施、読書啓発活動の推進、高大連携・企業との連携によるWeb講座の開催、「E-PLANET」を授業で使用する時間の増加、姉妹校を中心とした国際交流活動への利用、総合型選抜に向けての外部講師による指導、「Eラボ」の主体的活動 【1学期】「E-PLANET」・オリエンテーション（新入生）、「E-PLANET」の利活用に関する教職員研修 【2学期】生徒（生徒会・生徒図書委員会）主催の「E-PLANET」を用いた外部校との交流行事、教員の授業実践の蓄積に向けた呼びかけ（事業終了後の学校の在り方にもつながるきっかけ作り） 【3学期】第10回生徒研究活動発表会、取組みの評価の分析、次年度の計画策定、3年間の取組の成果発表会（教職員対象、公開）
		取組みの 主担・実 施者	主 担：校長、教頭、首席、探究推進部長 実施者：探究推進部教員、「総合的な探究の時間」授業担当者、進路指導部 図書館運営委員会、各教科全教員、将来構想検討チーム （生徒会・生徒図書委員会を中心とした全校生徒）
成果の 検証方法 と評価 指標	初 年 度		①令和6年度卒業生で、現役での国公立大学合格者のうち、総合型選抜での合格者率を15%以上にする。 ②図書館を利用した授業を年間30回以上おこなう。[R3 記録なし R4 5回 R5 21回] ③学校教育自己診断（生徒）において、「探究活動を通じて、主体的に学ぶ態度、論理的思考力等が身についた」の肯定的回答の割合を75%以上にする。[R4 79% R5 78%]

		④生徒の図書館貸出冊数を 1,500 冊以上とする。[R3 724 冊 R4 852 冊 R5 1443 冊] ⑤学校教育自己診断(生徒)において、「普通科、英語科、理数科の 3 学科併置の特色を生かした教育活動の充実が図られている」の指数を 80%以上にする。[R3 83% R4 83% R5 84%]
	2 年 め	①令和 7 年度卒業生で、現役での国公立大学合格者のうち、総合型選抜での合格者率を 25%以上にする。 ②図書館を利用した授業を年間 40 回以上おこなう。 ③学校教育自己診断(生徒)において、「探究活動を通じて、主体的に学ぶ態度、論理的思考力等が身についた」の肯定的回答の割合を 80%以上にする。 ④生徒の図書館貸出冊数を 1,800 冊以上とする。 ⑤学校教育自己診断(生徒)において、「普通科、英語科、理数科の 3 学科併置の特色を生かした教育活動の充実が図られている」の指数を 85%以上にする。
	3 年 め	①令和 8 年度卒業生で、現役での国公立大学合格者のうち、総合型選抜での合格者率を 40%以上にする。 ②図書館を利用した授業を年間 50 回以上おこなう。 ③学校教育自己診断(生徒)において、「探究活動を通じて、主体的に学ぶ態度、論理的思考力等が身についた」の肯定的回答の割合を 85%以上にする。 ④生徒の図書館貸出冊数を 2,000 冊以上とする。 ⑤学校教育自己診断(生徒)において、「普通科、英語科、理数科の 3 学科併置の特色を生かした教育活動の充実が図られている」の指数を 90%以上にする。